

## 令和4年1学期始業式 式辞

皆さん、おはようございます。校長の山本です。

見ることなく、終えた生徒の皆さんもいるかもしれませんが、校門前には、今年も見事な桜の花が咲き誇り、日根野高校の門出を祝福しているかのようなここ数日間の様子でした。

さて、今日から皆さんはそれぞれ学年に一つ数字が加えられ、2年生、3年生となりました。いうまでもなく、3年生はいよいよ高校生活最後の1年となります。長い人生の中でクラスメイトと一緒に何かをするという経験は最後になるかと思えます。

また、2年生の皆さんは、今日の午後、新入生が入学してくることで、学校の先輩となります。ピカピカの1年生の良き見本となるような、充実した学校生活を送ってください。

今年も、新型コロナウイルスの感染状況は厳しい状況が続いていますが、その中でもできるだけ皆さんの思い出作りに寄り添っていきたいと思っています。

限られた時間の中で、体育祭や文化祭などの行事に、また残り少ないクラブ活動に、心残りがないように濃い時間を過ごし、思い出を紡いでいってほしいと思います。

その中でも3年生の皆さんは、いよいよ人生での大きな選択の時を迎えます。あと数か月後に迫ってきている進路選択の時は、皆さんの人生に大きな影響を与えます。

ここで私からのお願いがあります。クラスみんなで、学年みんなで、また学校みんなでチームとなって進路実現に挑戦してほしいと思っています。受験は団体戦であるといわれます。もちろん、実際の受験は一人ひとりが個人で受けるものではありませんが、クラス、学校としてのチーム力が一人ひとりの挑戦の後押しをすることになります。日根野高校の底力を結集して、一人ひとりの夢の実現をかなえましょう。

皆さんに与えられた時間は限りあるものになります。本当に大切に貴重な皆さんの、青春の一瞬一瞬のページを濃いものにしていきましょう。

日根野高校の自慢は、生徒一人ひとりの笑顔です。皆さん一人ひとりが笑顔で輝く日々を送ることができるよう、生徒と先生と一緒に、この日根野高校の伝統を作り上げていってほしいと思います。

次の1学期の終業式には、みんなで集まって、体育館で式ができる日が来ることを願って、令和4年度1学期始業式の式辞とします。